

農政連だより

# みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

1 月号 No.229

発行／熊本県農業者政治連盟

JA 熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



八千代座（山鹿市：写真提供 熊本県）

明治の時代、豊前街道沿いに山鹿の旦那衆が建てた芝居小屋。国指定の重要文化財の八千代座は、棧敷席、廻り舞台などすべてが健在、今も坂東玉三郎舞踏公演が定期的で開催される。

## 主な内容

- ・平成 21 年度県農業政策・予算に関する要請
- ・県 JA 女性協議会・同青壮年部協議会と蒲島県知事との意見交換会
- ・ガンバッテいます：増田一寿さん、本田晴美さん
- ・各連合会からのお知らせ

明けまして、おめでとうございます。

さて、平成二十一年の幕開けは、アメリカ発の金融危機に端を発し、世界的な大不況の中にある。とりわけ、アメリカ経済を象徴する自動車会社ビッグスリーが、大変な経営危機に陥っている。こうした中で、日本経済もまた、その足元が大きく揺らぎ始めた。これまで世界のグローバル企業として、名を馳せてきた企業が、大きく失速している。これらは、非正規雇用を中心に大量解雇が相つぎ、更には、中小企業の倒産が増え、深刻な雇用不安を招いている。

「百年一度の危機」とも言われる今回の金融・雇用不安は、世界大恐慌の様相を深めている。

この中で、政局が混乱している。麻生政権は、発足後三か月余りで、すでに支持率が二十%を割っている。この危機の中で、政治が強力なリーダーシップを果たすときであるにもかかわらず、政権が十分に機能していない。

「いかなる形の政権になるにしろ、肝要なのは、世界の先行きについての中長期的展望を踏まえた政策を、迅速かつ強力に推進する政治体制であること。」（読売新聞）と指摘する。

「国民が望んでいるのは、小手先の雇用や景気対策を越えた大胆なビジョンと、それを実行する政治の力だ。」（朝日新聞）そして現在の危機の克服は、もう一度日本を作り直すくらいの大仕事と指摘する。

「政府資金を環境に集中投資して需要不足を穴埋めし、中長期的に環境技術が日本の成長を先導する経済・社会システムをめざすべきだ。」（毎日新聞）とする。

そして日本版「緑のニューディール」に踏み出すべきだと主張する。

この危機を乗り切るために、国の有り様を真剣に考えるときである。

や  
や  
ら  
さ  
い



## 新年のご挨拶



熊本県農業者政治連盟  
委員長 園田 俊宏

新年明けましておめでとうございます。

県下盟友の皆さんには、農政連の事業・活動につきまして、ご理解とご協力をいただきまして、心から感謝申し上げます。

さて昨年は、燃油・肥料・飼料等の価格が高騰するなどわが国の農業は、かつてない厳しい危機的状態にありました。こうした中、県下各地域のJAで農業経営危機突破大会が開かれ、8月30日には県下JAグループが一丸となり、白川公園に3,300人を結集して農業の危機を消費者に訴えるとともに、国・県等への緊急対策を要請するための大会を開きました。

また、世界の穀物需給の逼迫に加え、中国輸入食品への不信感の顕在化から食料の安全性が強く叫ばれる中、県産の安全・安心な農畜産物の提供に努め、食料増産・自給率向上の運動に取り組んでまいります。

また、WTO・EPA農業交渉は、農業分野と非農産品分野のモダリティの合意に向けて、今後も公平・公正な貿易体制確立をめざして毅然たる姿勢を示してまいります。

さらには、昨年末に世界規模で金融危機が起こり、景気は冷え込んでいます。これを受けて国会においても、衆議院の解散が先送りとなるなど、波乱含みの展開が予想されます。

本年は、これまでになく厳しい情勢ではありますが、盟友の付託に全力で応えてまいれる所存です。

盟友の皆さんの御支援とご協力を心よりお願い申し上げます、平成21年の新たな年に際し、皆様のご健勝を祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

## 平成21年度県農業政策・予算に関する要請

JA熊本中央会・連合会・農政連等の県下農業11団体は、12月18日、県庁にて平成21年度県農業予算に関する要望書を、蒲島県知事と村上県議会議長等に提出した。



▲平成21年度県農業予算に関する要望を述べるJA熊本中央会園田俊宏会長

本県にとって基幹産業であり、若い人が楽しく農業ができるよう、皆さんと一緒に熊本農業の活性化のために全力で支援していく」と心えた。平成21年度の要請では、農業・農村振興対策として生産コストに着目した経営安定対策の確立や「担い手対策」に関する支援対策、県産農林水産物などの輸出处策のほか、新規事業として食肉処理施設整備事業やくまもとの農家経営「夢づくり」支援体制確立事業などについて要望した。農業予算要望額は、35項目、21億円余の予算確保について要請した。

### ■主な農業予算要望事項

1. 水田新産地形成事業（継続）
2. 水田地域営農体制整備支援事業（継続）
3. 担い手育成支援事業（継続）
4. 地域営農組織育成緊急支援事業（継続）
5. 野菜価格安定対策事業（継続）
6. 肉用子牛価格安定事業（継続）
7. 食肉処理施設整備事業（新規）
8. 園芸新たな挑戦強化対策事業（継続）

（続）

園田俊宏JA熊本中央会会長（農政連委員長）をはじめ各団体の代表が出席する中で、園田会長が団体を代表して蒲島県知事に要望書を手渡し、「県内農業者が希望と意欲をもって営農に取り組む、活力ある地域農業と豊かな地域社会を実現するために、特段の配慮をお願いしたい」と挨拶。

これに対し、蒲島県知事は、「農業は



# 県知事と意見交換



## 県JA女性協議会と同青壮年部協議会からの 主な意見

- ・熊本県のトップセールスは有難いと思いますが、さらに米など県の農産物、県農業のPRをお願いしたい。
- ・四年前からイチゴの「ひのしずく」を栽培しているが、佐賀県の「甘王」は有名であり、熊本県でも四割が「佐賀ほのか」となっており、なかなか「ひのしずく」の栽培生産農家が増えない。県も県産品にもっと力を入れてほしい。
- ・水竹の子の産地偽装は、生産者を冒とくしているのでなんらかの対応をお願いしたい。
- ・土地が空き、荒地が増えているので対策をお願いしたい。
- ・新規就農者への祝い金が減っているので、ぜひ増額して続けてほしい。
- ・地産地消 100%を目指していこうと思っており、直売の市の立ち上げを計画しているところですので県にも支援をお願いしたい。
- ・中山間地では、人口が少なく、若い人がいない中で地産地消でがんばっている。過疎地や田舎の方にも目を向けていただきたい。
- ・福島知事の時代から農業の時代が来るといわれてきました。蒲島知事もそういわれるが本当にくるのでしょうか。



河野大介県青協委員長、三津家敏子県女性協会長の挨拶、その後蒲島知事が「熊本農業の活性化に全力で取り組んでいきたい。この大不況は農業にとってチャンスであり、2・3年後には新しい農業が到来する」と話された。農村の高齢化対策や過疎化など切実な問題を訴えた。過疎化について、蒲島知事は、「田畑が荒れている現状を目のあたりにして、非常に残念です。田

畑の荒廃地をなくすよう、急ぎ対策を検討していきたい」と述べるなど熱心な意見交換が行なわれた。  
このほか、県青壮年部大会で組織活動実績発表で最優秀賞を受賞したJAやつしろ松高支部の「八代から愛を」にて 給食に新メニュー！ 米粉パン導入への道」のビデオを観賞し、米粉パン導入への理解を深めた。

県JA女性協議会と同青壮年部協議会約30名が蒲島知事と農業について意見交換会を開催。

# J A や つ し ろ 青 壮 年 部 活 動

J A や つ し ろ 青 壮 年 部 ( 部 長 : 藤 井 和 章 ) は 11 支 部 、 盟 友 7 7 6 名 で 地 域 農 業 の 担 い 手 と し て 地 域 に 密 着 し た 様 々 な 活 動 を 行 っ て い ます 。

特 に 本 年 度 は 、 「 食 育 活 動 」 と し て 小 学 校 や 幼 稚 園 で の 農 業 体 験 活 動 や 、 米 粉 を 使 っ た パ ン を 作 り 学 校 給 食 へ 提 供 す る な ど 食 の 安 心 ・ 安 全 ・ 大 切 さ な ど を 伝 え る 活 動 を 展 開 し て い ます 。

こ の ほ か 、 農 政 学 習 の 開 催 や 地 域 活 動 に も 積 極 的 に 参 加 し て い ます 。

## 小 学 生 ・ 園 児 と の 農 業 体 験 学 習

青 壮 年 部 各 支 部 に よ る 小 学 生 や 園 児 と の 農 業 体 験 の 様 子 で す 。

種 ま き か ら 収 穫 ま で を 行 い 、 子 供 達 に も 大 変 喜 ば れ 、 食 の 大 切 さ を 伝 え る こ と が 出 来 ま し た 。



▲ 種 ま き の 様 子



▲ 田 ん ぼ で 綱 引 き



▲ 田 植 え の 様 子 ( 左 : 小 学 生 右 : 保 育 園 児 )



▲ 手 作 り か か し の 作 成



▲ 稲 刈 り の 様 子



▲ 藤 井 部 長 自 ら 稲 刈 り 指 導

## 地 元 米 を 使 っ た 米 粉 パ ン 作 り 学 校 給 食 へ 提 供

給 食 へ 提 供

J A 青 壮 年 部 松 高 支 部 で は 、 小 学 校 へ 地 産 地 消 、 米 の 消 費 拡 大 を 目 的 と し て 3 、 5 0 0 食 を 提 供 し ま し た 。

「 も ち も ち し て お い し い 。 」 と 好 評 で し た 。

今 後 も 学 校 給 食 へ 、 本 格 導 入 を 目 指 し て 活 動 し て い ぎ ます 。



▲ J A 熊 本 県 青 壮 年 部 大 会 に お い て 「 組 織 活 動 実 績 発 表 の 部 」 で 松 高 支 部 が 最 優 秀 賞 を 受 賞 し ま し た 。



## 地 域 の 行 事 へ の 参 加

地 域 の 行 事 に も 積 極 的 に 参 加 し て い ます 。

下 の 写 真 は 今 年 度 の 「 球 磨 川 ま つ り 」 御 輿 の 部 で の 参 加 風 景 で す 。

こ の ほ か 、 各 支 部 各 種 各 様 な 行 事 に 参 加 し て い ます 。



## 農 政 学 習 会 の 開 催

青 壮 年 部 で は 近 年 、 農 業 学 習 会 を 開 催 し て い ます 。 盟 友 自 ら 知 識 を 深 め る た め 勉 強 し て い ます 。



▲ 農 政 学 習 の 様 子



増田 一寿さん

J A 鹿本



●両親のあとを継いで

山鹿市鹿本町は、水辺プラザ、石の風車、特産品では、電照菊、メロンなどが有名。

増田さんは、昭和42年11月生まれ。鹿本農業高校を卒業、花卉で有名な滋賀県のカーネーション栽培農家で、土壌づくりから収穫まで、一連の作業をみっちり勉強しました。

現在は、両親とともに菊60a、メロン20a、水稲28ha、麦3ha、大豆1.3haを栽培しています。

●電照菊の栽培

鹿本町では昨年、秋の豫章をうけられた中山輝房さんの指導（約50年間）で菊栽培農家が、増え県下でもトップの生産地になっています。

菊は、日照時間が短くなるので花芽を形成し、やがてつぼみとなり、開花するまでという性質を利用します。秋菊の花芽形成前の5〜8月頃

の夜間に電球をつけて、菊に照明をあてその後の月以降は、通常の栽培を行ないます。需要が高い年末年始は、朝から夜まで大忙し。丁寧に分け、幾束にも仕上げ、地元JAに出荷します。

●よりよい菊を目指して

台風が発生する9月頃は、心配でなりません。数年前は、台風により露地ハウスのビニールや鉄パイプが損壊して、花や茎が痛んで商品価値が下がり、JAへの出荷量が減るなど大変困りました。また、今年は、重油や資材が高騰し、管理コストが上昇。我家の経営も厳しさを増しています。

「これからも、菊の品種をはじめ、土壌改良や省エネ・エコの観点から、新しい照明に切り替えるなど、次の生産に繋がるような商品価値の高いものや、経費節減に取り組んでいきたい。」と熱心に話されました。

●青壮年部の活動とボランティア

青壮年部の鹿本支部・支部長として、部員の指導や管内の食育活動に活躍されている増田さんは、8月の鹿本招魂祭や10月のふるさと自慢祭りにも盟友ご参加。

一方、商工会青年部と一緒に福祉協議会を通じて、なかなか温泉にいけない方々に温泉を味わってもらおうと、温泉の毛配をしています。湯が冷めないようにポイラーを焚きながら、7月と11月の年2回、20件ほどに配達しており、皆さんから大変喜ばれています。その後、温泉の毛配を続けることも、「ボランティアの充実を図りながら、その輪をもっと広げていきたい。」と話されました。

本田 晴美さん

J A あまくさ有明町支部フレッシュミズ



▲フレッシュミズ発表会「舞夢フォーラム」にて

本田さんは、竜ヶ岳町の出身。キルトパッチワークインストラクターとして活動されています。十五年前に、友人の紹介で現在のご主人と知り合い、結婚しました。

その後、四人の子供に恵まれ、今では育児、キルトのインストラクター、そして農業の手伝いの三足草鞋で頑張っています。

●はじめて作ったタマネギ

本田さん宅では、お母さんを中心として、米を五十九a、清見オレンジ、デコポンを二十a作っています。

「普段は公民館でキルトのインストラクターをしていて、農業は農繁期に手伝う程度でした。二年前に一度、極早生タマネギを作ることになりました。種蒔きから収穫までの管理が大変でした。特に収穫は、作付面積が広く分量も多く、家族皆で手伝ってもらいました。」

●フレッシュミズでの活動

本田さんが所属する有明町支部フレッシュミズでは、現在二十四名の会員が活動をしています。

いつも子供がメインで、出来る活動が基本となっています。

今年は花の寄せ植え、晩柑ゼリー作り、浴衣の着付け、がま口財布、クラフトテープのバック作り、親子参加のクリスマスケーキ作りを行いました。特に五月に行うゼリー作りは、今年で三年以上も続いています。出来たゼリーは毎年有明町の保育園にプレゼントしています。

十一月には「フレッシュミズの集い」が開かれ、食育と環境について体験学習を行ったそうです。

●今後の期待と抱負

本田さんは、今後の抱負として、「会員数を増やすこと。そのために参加しやすいグループ活動を計画していきます。地区は関係なしに参加できて、五名ぐらいの少人数で行動できること。新しい活動を行う際の事前確認になるし、フレッシュミズに入会していない方でも、自由に参加できるようにすれば、入会のきっかけになるのでは」と話されました。

## JA中央会

### 3か月間、410人が参加した街頭辻立ち演説が終了

JAグループ熊本は12月26日、10月6日から3か月間実施した、県民に対する食料・農業問題への理解促進を訴える「街頭辻立ち演説」を当口で終り、経済連会館玄関前で、役員約200人が参集し終了式を開きました。

まず園田俊宏中央会会長が「全職員による辻立ち演説は、食料・農業問題への理解促進で大きな成果があったと思う。全国で先駆け実施したことは意義があった。感謝したい。」と挨拶しました。

この街頭辻立ち演説は、3か月間、熊本市水道町交差点で月曜日から金曜日まで雨の日も欠かすことなく、朝8時から1時間、中央会・連合会・専門連の職員4人でローテーションを組み実施。

ノボリ旗と横断幕を添えて、1人15分ずつ、通勤中の市民にマイクを持ち力強く訴え続けました。

延べ56日、参加職員は410人。その他12月1日は、県下各JAで一斉に統一街宣デーとして展開し、連合



▲中央会・連合会職員に感謝する園田会長

会会長等も演説した他、12日には女性部と青壮年部役員らも実施しました。

なお、チラシ配布街宣活動では、4月から11回、熊本市と福岡市（2回）で大々的な活動を展開してきました。

式では最後に、上村幸男JA熊本経済連会長が「今後ともこの経験を糧に、頑張っしてほしい」と激励し感謝しました。

### 県内で農業をやりたい人を募集

平成21年度熊本県JA農業インターン事業

熊本県で本格的に農業をしてみませんか？JA熊本中央会は、平成21年度熊本県JAインターン事業を、2月28日まで募集します。

この事業は、05年度からスタートしているもので、担い手不足が深刻になっている中、他産業に従事していたUターン就農希望者や新規参入希望者等に、将来の地域農業の担い手となる人材の育成・確保を図るため実施されています。

08年度の研修生は、現在13名が来年からの独立を目指し頑張っています。▼募集対象者▶年齢18歳～55歳までの男女。

▼募集人員▶15名程度。▼研修期間▶09年5月～10年2月まで10か月間

▼研修内容▶農業実習・中央会等基礎的研修・JA実習等

▼手当▶研修手当月額5万円程度、住宅手当月額2万5000円

▼選考方法▶1次・2次選考を経て5月1日に事業スタート。

▼問い合わせ先▶JA熊本中央会・連合会営農センター（担当：内田）・熊本市南千反畑町2-1-3・電話096-328-11027

## JA経済連

### 第2回くだものセミナー

熊本県果樹生産振興対策本部（熊本県・JA熊本果実連・JA熊本経済連などで構成）は、12月19日、熊本大学

で第2回くだものセミナーを開催しました。これは、「毎日くだもの200グラム運動」の一環として、「くだもの健康機能に関する知識」等の一般

での広い浸透と、果物の消費拡大が目的。近い将来食物摂取場面で強い影響力を持つと考えられる熊本県内の大学

や職員およそ110人が参加。熊本県果樹研究会青年部藤川貴臣部長によ

り、「知って！食べて！おいしいみかんの魅力」をテーマに、より多面的な果物の情報を知り、将来の食に関する活動にあたってもらうため、果物がで

きるまでの過程や健康機能にスポットを当てながら、講演がありました。また、JA熊本経済連とJA熊本果

コポン・晩白柚の試食をしながら、糖度やおいしく食べる時期・保存期間など、くまもとのくだもの紹介を行いました。

参加した学生か



▲ひのしずくを試食するセミナー参加者たち

らは、「甘ーっ！でもおいしい。」という声が聞かれました。ひのしずくは、熊本の水がきれいというイメージとみずみずしいいちごのイメージからつけられた名前。酸味が少なく、ポリフェノールがあり、とても良い香りがします。

### クリスマスにちなんだ「カスミソウ」のプレゼント

熊本県花き協会宿根カスミソウ専門部会は、12月19日、サンロード新市街で、カスミソウのミニブーケの街頭プレゼントを行いました。これは、クリスマスにちなんで、カスミソウのPR・認知度アップを図るとともに、花きの県内消費拡大を目的として行ったもので、今年で2回目。準備された1,000個のミニブーケは、およそ30分程度で無料配布は終了。

熊本県は、カスミソウの作付面積・出荷量共に全国一位であり、作付け面積では、全国のおよそ4割を占め、関東を中心に、全国各地へ出荷を行っています。配布した生産者らは、大きな声を出して、全国で一位のカスミソウをPRしていました。アーケードの通行客は、とてもきれいなカスミソウを喜んで手にとっていました。



▲喜んでカスミソウを手にする通行客



# JAバンク

## JA教育ローン「希望」がお手伝い

いよいよ受験シーズンとなりました。受験生の皆様は夢に向かって最後の追い込みをされている事でしょう。

しかしながら、教育費も年々増加傾向にあり、多額の費用が必要となっております。

JAでは、教育費のお手伝いとして、お得なJA教育ローン「希望」をご用意しております。

高校以上の学校に就学予定、就学中の子弟をお持ちの方を対象に入学金や授業料等、必要な資金を最高500万円までご利用いただけます。キャンペーン期間中（平成20年11月4日（火）～平成21年3月31日（火））にお申込をいただき、平成21年4月30日（木）までにお借入れいただきます。

JA教育ローン商品概要

（平成20年12月末現在）

保証機関	熊本県農業信用基金協会	三菱UFJニコス（株）
ご利用いただける方	<ul style="list-style-type: none"> <li>組合員または組合員になれる方</li> <li>高校以上の学校に就学予定または就学中の子弟を有すること</li> <li>借入申込時年齢20歳以上、最終償還時71歳未満の方</li> <li>原則として勤続（営業）年数および地区内居住年数が1年以上の方</li> <li>年収が正組合員150万円以上、准組合員200万円以上の方</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高校以上の学校に就学予定または就学中の子弟を有すること</li> <li>継続して安定した収入がある方</li> <li>原則として借入申込時年齢20歳以上65歳以下の方</li> <li>原則として勤続年数が1年以上、または2年以上の営業実績を有する方</li> <li>三菱UFJニコス（株）の保証を受けられる方</li> </ul>
お使い道	入学時：入学金など入学時に必要な資金 在学時：授業料など1年以内に必要な資金とします （借入申込日より2ヶ月前に支払済みとなった資金を含む）	就学子弟の入学金、授業料、学費および下宿代等とします
お借入限度額	500万円以内（1万円単位）とします（所要金額の範囲内）	10万円以上300万円以内（1万円単位）とします（所要金額の範囲内）
据置期間	借入日より借入対象子弟の卒業予定年月の末日の6ヶ月後までに到来する利払い日までの範囲内とします	最長4年以内（在学期間内）とします
お借入期間	据置期限を含め最長13年6ヶ月（在学期間+7年6ヶ月）の範囲内とします	10年以内（1年単位）とします（据置期間+返済期間6年以内）
お借入金利	固定金利型：年2.45%	
保証人	原則不要	
	保証会社が必要と認めた場合は必要となります	
ご返済方法	元利均等で次のいずれかの方法 ①毎月払い ②毎月払い+半年賦 ③半年賦 ※③については農業者のみとします	元利均等、元金均等で次のいずれかの方法 ①毎月払い ②毎月払い+半年賦 ③半年賦
担保	不要	
保証料	正組合員：年0.36% 准組合員：年0.50%	年1.5%

\*ローンのご利用は、各JA所定の資格・要件を満たす方に限らせていただきます。  
 \*ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。  
 \*店頭にて返済額の試算を承っております。  
 \*審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。  
 \*ローンをご利用中に、繰上げ返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途各JA所定の手数料（最大5,250円：税込）が必要となることがあります。詳しくはJAにお問合せ下さい。

年2.45%の優遇金利を適用いたします。  
 （注1）また、熊本県農業信用基金協会保証の場合、ご返済の期間は最高13年6ヶ月以内（据置期間を含む）となり、据置期間中は利息だけのお支払いとすることもできますので、元金はお子様が進学を卒業されたからご返済することもできます。（注2）是非、お子様の夢を叶えてあげるためにご利用下さい。

詳しくは、JA窓口にお気軽にお尋ねください。

（注1）適用金利は金融情勢等の変化により上記期間中に見直しさせていただきます。  
 （注2）据置期間：借入日より借入対象子弟の卒業予定年月の末日の6ヶ月後までに到来する利払い日までの範囲内（各JAで異なります）

12月末現在の店頭金利は年5.30%以内（注2）据置期間：借入日より借入対象子弟の卒業予定年月の末日の6ヶ月後までに到来する利払い日までの範囲内

# JA共済連

## ドライビングシミュレーターで安全運転診断

安全運転に対する意識を高めよう

JA共済では、高齢者ドライバーの交通事故が増加傾向にあることから、安全運転に対する意識を高めてもらうと、平成20年度から全国各地でドライビングシミュレーターによる安全運転診断を行っており、県内での開催は8回を数えています。

ドライビングシミュレーター機器搭載の「きずな号」は、実車と同じような感覚でモニターの画面を見ながらハンドルを握り、さまざまな危険場面の運転を体験するものです。

「きずな号」は、29インチモニターを3画面使用しており、周囲の音やエンジン音等も忠実に再現しています。また、カメラの設置もあり、走行時の左右後方の安全確認などの動作をパソコンでチェックできるようにしています。過去の事例を参考に、事故を起こしやすい場面を再現したドライビングシミュレーターは、夜間や雨天、山道などのコースや、ボールや行人の飛び出し等いろいろな場面が設定されており、体験者の中には、シミュレーターの中で事故を起こしてしまう方もいました。ドライビングシミュレーターの体験者には、「きずな号」の運転手が診断結果票による交通安全指導



を行っています。  
 高齢者ドライバーの事故は、加齢による身体機能の低下によるものが多く、「自分は大丈夫」という「過信」や「つっかかりミス」によるものが、大半を占めています。ご自身の運転を見直す機会をご提供することで、JA共済は安全・安心な暮らしをサポートしています。

# あじだわ

● 水仙は、雪の降り積もる中でも、花を咲かせて春の訪れが近いことを知らせる雪中花。本年は、いい年でありますように。



## 一月に咲く花【水仙】

スイセンの名は、漢名を音読みしたものです。

中国では、スイセンが水辺を好んで繁茂、その姿や芳香から「水の仙人」と呼んだことに由来します。

英名では、ナルシサスと呼ばれギリシャ神話に遡ります。

ちなみにナルシズム（自〇〇陶醉）、ナルシスト（自〇〇陶醉者）はこのギリシャ神話から来ています。

本州以南の暖かい海岸近くで野生化し群生、越前海岸あたりでは花の絨毯が広がり、福井県の県花にもなっています。栽培も育て方も比較的簡単で白、黄色の花の美しさ、香りのよさから早春の花として愛好家が多い。

（花ことば）自〇〇愛  
ヒガンバナ科／多年草／スペイン、ポルトガル方面

● 盟友の皆様のご意見や 周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸甚に存じます。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-1328-11284

FAX 096-1326-58007

あけましておめでとうございます。  
今年も、JAバンクと一緒に。



JAバンク熊本



みんなの  
よい食  
プロジェクト

JAグループ

「よい食プロジェクト」を展開します。

JAグループでは、生活者の食料についての不安や不信の高まりによる、安全・安心な国産農畜産物や日本農業への関心が従来にもまして高まってきている状況をふまえ、「みんなのよい食プロジェクト」を始動させました。

このプロジェクトは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農家とJAグループ、そして消費者のみなさんが一緒になって考え、行動していく運動です。

JA 熊本中央会

JA共済



入院・手術から療養まで、  
すべての「がん」に頼れる備えを。

前向きに生きるために「治すこと」をいちばんに考えた「がん」専門の保障です。

高度な専門治療が必要なものも「がん」は、医療費の負担が高額になることもしばしばです。JAの「がん共済」なら、「がん」と診断されたときから、入院・手術はもちろん退院後の在宅療養まで、あらゆる「がん」を一生、保障いたします。

一生の「がん」保障  
がん共済

詳しくは、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。  
■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp>

08481050144

第34回 熊本に春の訪れを告げる緑の祭典。

# 植木まつり

平成21年1月24日(土) ▶ 2月23日(月)

午前9時～午後5時  
熊本県農業公園  
[カントリーパーク]



JA熊本経済連